



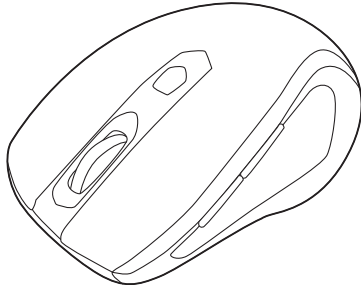
# ワイヤレスブルーLEDマウス 取扱説明書

MA-WBL35シリーズ

MA-WBL35 マウス本体



MA-WBL35SRC レシーバー



最初に  
ご確認ください

- マウス本体 ..... 1台
- 超小型レシーバー ..... 1台
- 単三乾電池(テスト用) ..... 1本
- 取扱説明書 ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 警告
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 特長
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備(電池の入れ方)
- マウスの接続(Windows用)
- マウスの接続(Mac用)
  - ID(チャンネル)の設定
  - 「故障かな…」と思ったら
  - 保証規定

Windows 7またはWindows 10・8.1・8/パソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について

## 1.はじめに

この度は、ワイヤレスブルーLEDマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。  
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。  
また日常のパソコン操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 3.警告

### ■テレビ・ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのパソコン機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のパソコンシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のパソコン、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のパソコンシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。

●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

●テレビまたはラジオから離れた場所にパソコンを設定し直してください。

●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにパソコンを接続してください。

●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

### ■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

## 4.対応機種・対応OS

### ■対応機種

●Windows搭載(DOS/V)パソコン

●Apple Macシリーズ

※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種

### ■対応OS

●Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP ●Mac OS X(10.2以降)

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。

※機種により対応できないものもあります。

※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

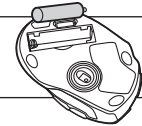
## 5.接続手順

詳細は各項目をご覧ください。

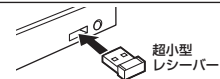
・対応OSを確認します。  
→4.対応機種・対応OS



マウスに電池を入れ、レシーバーを  
取出し、電源をONにします。  
→8.マウスの準備



・パソコンの電源を入れOSを起動します。  
・USBポートにレシーバーを接続します。  
→9.マウスの接続



ご注意  
USBポートへレシーバーを接続する際、必ず接続したいレシーバーのみ接続してください。同じシリーズのレシーバーを近くで接続するとペアリング対象が変わる場合があります。

マウスは使えるようになります。



## 6.特長

本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスです。入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさもなく、快適な環境でのパソコン操作が可能となります。

本製品はブルーLEDセンサー方式で、高い読取性能を実現し、光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。

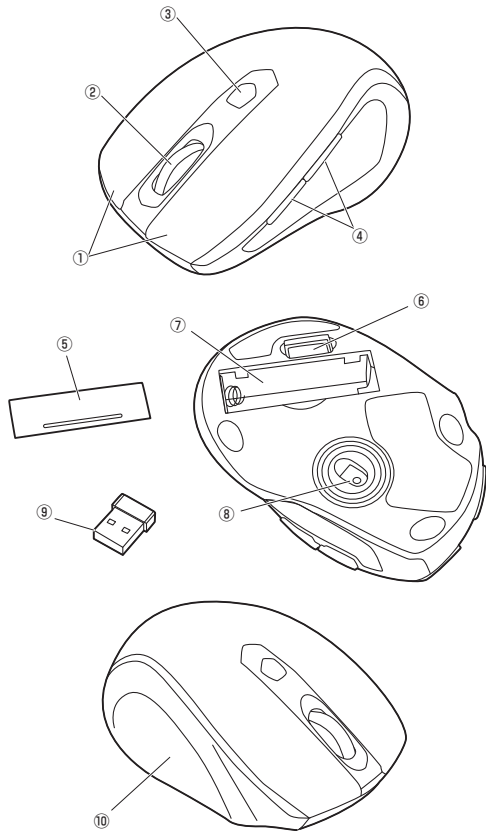
本製品は、サイドにも2ボタンを搭載しており、Webブラウザで「戻る・進む」の操作がスピーディーに行えます。

本製品は、使うシーンに合わせてカーソルスピードを800カウント、1200カウント、1600カウントに簡単切替えが可能です。

本製品は、エルゴノミクス形状を採用しており、長時間のマウス操作でも疲れにくい形です。

※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 7.各部の名称とはたらき



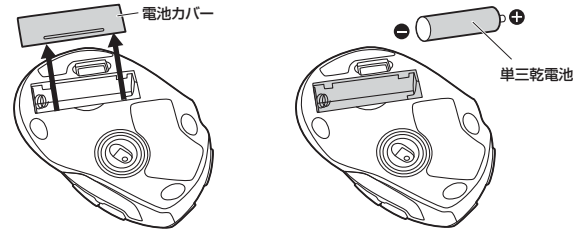
- ①左ボタン・右ボタン …… 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行ったり、ポップアップメニューの表示をすることもできます。
- ②ホイールボタン …… インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。
- スクロールモード …… インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム …… ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

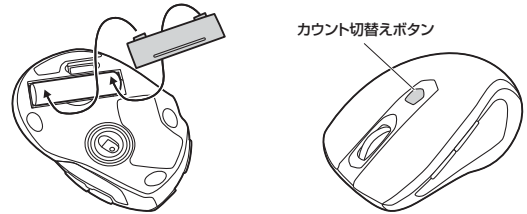
  - 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
  - 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。
- ③カウント切替えボタン …… カウント切替えボタンを押すと、カーソルスピード(分解能)を800(カウント切替えLED) → 1200 → 1600 → 800カウントに切替えることができます。
- ④戻るボタン・進むボタン …… Webブラウザで「戻る・進む」の操作がスピーディーに行えます。
- ⑤電池カバー …… このカバーを外して、電池を入れます。
- ⑥レーザー収納スロット …… レザーを収納することができます。
- ⑦電池収納スロット …… 電池を収納することができます。
- ⑧ブルーLEDセンサー …… 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。
- ⑨超小型レーザー …… 14.5×19mmの極小レーザーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りわずか8mm。装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。
- ⑩エルゴエッジ構造 …… 小指が机に触れないエルゴエッジ構造になっているのでスムーズで疲れにくいマウス操作が可能です。

## 8.マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス表面の電池カバーを開き、取外します。
2. 付属の単三乾電池を電池収納スロットに入れます。  
※正しい極性で入れてください。



3. 電池カバーのツメを差し込んでから、フタを閉じます。
4. 本体上面のカウント切替えボタンが点灯します。

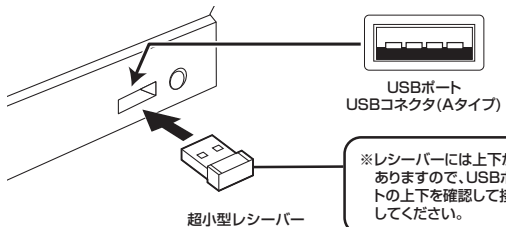


- ※マウスを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり、ブルーLEDセンサーが点灯しなくなったら、電池を交換してください。
- ※電池交換の際には、新品の単三アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります)
- ※空になった電池をマウス内に置いておくこと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。

## 9.マウスの接続(Windows用)

### ■レーザーを接続

- ※注意:マウス用レーザーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。
- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
  - ②レーザーをパソコンのUSBポートに接続します。



※レーザーには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。

- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

### 《Windows 10・8.1・8の場合》

ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

### 《Windows 7の場合》

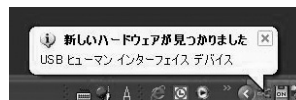
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」  
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### 《Windows Vistaの場合》

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」  
「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### 《Windows XPの場合》

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



# Windows 7またはWindows 10・8.1・8パソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について

インターネットに接続されたWindows 7やWindows 10・8.1・8のパソコンで、マウスを接続してもしばらく認識しない場合があります。このような場合、初期USB機器接続時のドライバのインストール中、Windowsが最新ドライバを自動的に検索する機能が働いている場合があります。

## ■最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ

最初に接続すると、タスクバー右下に下記のようなメッセージが出ます。(このウィンドウは、設定関係なく表示されます)



ウィンドウをクリックすると、ドライバのインストール状況が確認できます。ここで、「Windows Updateを検索しています…」と表示され、しばらく検索が続きます。



## ■解決方法

[1] 使用されているパソコンのインターネット接続を無効にする。

パソコン本体のワイヤレススイッチをOFFにしたり、ケーブルを抜くなどでネットワークから切り離してください。

[2] Windowsのドライバインストール設定を変更する。

下記、手順①は、OSバージョンにより操作方法が異なります。ご使用のOSの項目をご覧ください。

① <Windows 7の場合>  
(変更後は元に戻されることをお勧めします)  
・「スタートメニュー」を開き、「デバイスとプリンター」を開きます。



① <Windows 10・8.1・8の場合>  
(変更後は元に戻されることをお勧めします)

・画面左下にある「Windowsマーク」にカーソルを合わせ、右クリックします。

・「コントロールパネル」を選択します。



・「ハードウェアとサウンド」内の「デバイスとプリンター」を開きます。



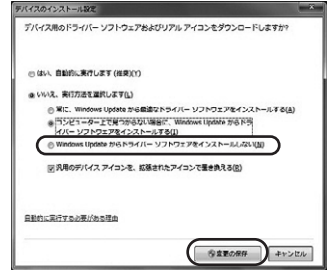
② <各OS共通>  
使用しているパソコンのアイコンが出ますので、右クリックします。



③ 表示されるメニュー内の「デバイスのインストール設定」をクリックします。



④ 「いいえ」を選択し、「コンピューター上で…」か「Windows Updateから…」を選択し、「変更の保存」をクリックして完了です。その後、USB機器の接続を行ってください。



[3] Windows Updateの検索をスキップする。

ドライバインストール時の状態表示ウィンドウ内で、「最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ」を参照)「Windows Updateからのドライバソフトウェアの取得をスキップする」をクリックします。すると、自動的に検索がストップしますが、完了するまでに時間がかかります。場合によっては、解決できないことがあります。



## 10.マウスの接続(Mac OS X用)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

- ①パソコンの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。

**注意** USBポートへレシーバーを接続する際、必ず接続したいレシーバーのみ接続してください。同じシリーズのレシーバーを近くで接続するとペアリング対象が変わる場合があります。

- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ④これでマウスをご使用いただけます。

## 11.ID(チャンネル)の設定

### ※重要(必ずお読みください)

レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでなくなることがあります。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後まもなくして、マウスが動かなくなった場合は、すみやかに電池を交換してください。

## 12.「故障かな…」と思ったら

### Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

- 1.マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。("B.マウスの準備"参照)
- 2.レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。("11.マウスの接続の「レシーバーを接続」"参照)
- 3.付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。("B.マウスの準備"参照)

### Q.マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

- 1.本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、マウスを動かすか、左右ボタンを押してください。

### Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

- 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご利用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
- 2.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご利用になってみてください。
- 3.ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるといった機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを挿し直してください。
- 4.レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

### Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

- 1.Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

### Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- 1.ハイカラーモードを選択してください。
- 2.ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

## 13.保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ①保証書をご提示いただけない場合。
  - ②所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
  - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
  - ⑥譲渡や中古販売・オークション転売などでご購入された場合。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4)本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが発生しても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
  - よくある質問(Q&A)
  - ドライバーのダウンロード
  - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。

### ▼トップページから



### ▼サポートページへ



ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

岡山サブライセンター/〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-1-0-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サブライセンター/〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所/〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 バストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37 宝来ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
名古屋営業所/〒463-0015 名古屋市中村区権町1-6-7 カジヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-4 5新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20 第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

BGAC/NSD#No